

外来魚駆除で、サケマス卵・稚魚の被害防止と在来魚復活

サケ回帰率の向上と生物多様性の保全をめざして！

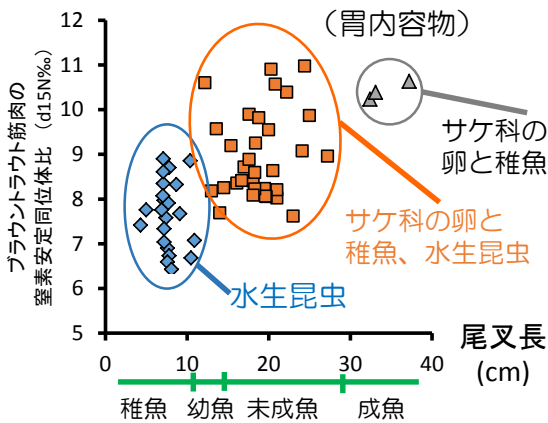
背景

- 全道の河川等には遊漁目的で外来魚のブラントラウトが放流、サケマス増殖事業や河川生態系への影響が懸念。
- ブラントラウトは道内水面漁業調整規則で移植放流が禁止。しかし、在来種への影響や生活史など科学的データが不足。



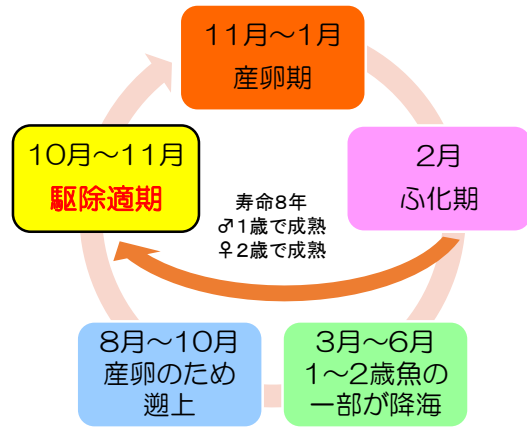
成果

1 ブラントラウトの食性



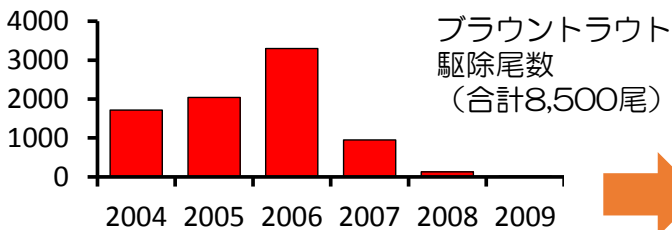
- サケマスの卵・稚魚への被害
- 体長12cm以上から、魚食性が増す。

2 ブラントラウトの生活史

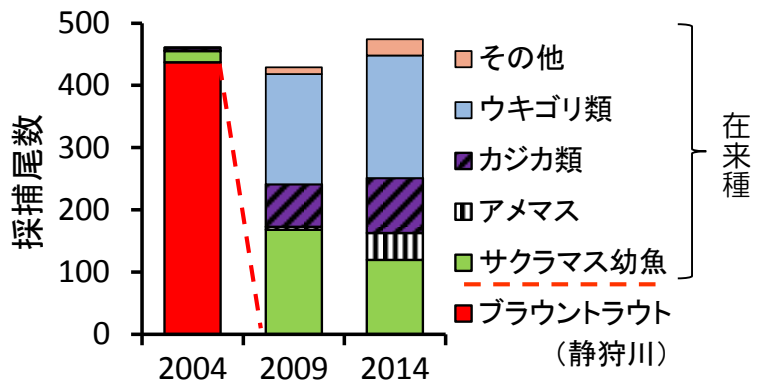


- 産卵期前の10月～11月が駆除適期

3 外来魚駆除による在来魚の回復過程



河川で捕獲したブラントラウト



- 2004年には、捕獲される魚類の9割以上がブラントラウトだったが、2009年以降、ほとんどが在来魚になった。

期待される効果

- 外来魚の生態とサケマス増殖事業や在来魚への影響を解明しました。
- 駆除技術を開発し、被害の低減や在来魚の復活（生物多様性の保全）に活用されます。